



## 緑を守ることの大切さ学ぶ

第1回会津耶麻地方育樹祭を開催



丸太切りを体験する緑小緑の少年団の児童ら

猪苗代、北塩原、西会津、磐梯の4町村でつくる会津耶麻地方緑化推進委員会が主催する、第1回会津耶麻地方育樹祭は9月25日、びわ沢原森林公園で開かれ、関係団体や管内の緑の少年団から約160人が参加しました。

同委員会委員長の小椋敏一北塩原村長、前後町長のあいさつの後、長年にわたり森林の保全や管理、林業振興に貢献したとして、原田好英さん(伯父ヶ倉)に緑化功労者表彰が手渡されました。

引き続き、緑の少年団の児童らが丸太切りや間伐などを体験し、緑を守り育てることの大切さを学びました。

## 老人福祉向上の功績称える

戸田忠義さんに全老連会長表彰



報告に訪れた戸田さん(右)

10月4日に東京の日比谷公会堂で開かれた、全国老人クラブ大会で表彰を受けた町老人クラブ連合会の戸田忠吉会長は10月9日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告しました。

この表彰は、県老人クラブ連合会の理事や町老人クラブ連合会の会長などを長年務め、老人クラブ活動の推進と育成発展に貢献した功績が認められたもの。戸田さんは「これに恥じないよう、今後も老人福祉のために努めていきたい」と抱負を述べました。

前後町長は「今まで大変なご苦労があったと思います。心からお祝い申し上げます」と受賞をたたえました。

## 超絶の音色に酔いしれる

ばんだい高原国際音楽祭を開催



ノエ・乾さん(左)とマリオ・ヘリングさん(右)

クラシックコンサート「野口英世記念ばんだい高原国際音楽祭」は10月6日から8日までの3日間、町内4会場で開催され、町内外から訪れた延べ3458人の聴衆が音色に酔いしれました。

猪苗代に集結した世界トップレベルの演奏家9組は、学びいな、野口英世至誠館、アンジュール猪苗代とリステル猪苗代で延べ20ステージ以上を披露。多彩なステージを繰り広げ、会場に詰め掛けた聴衆を魅了しました。

会場を訪れた人たちは「とてもすばらしかった」「来年もまた聴きたい」などと感想を話していました。

## 建築物の安全性確保のため

24年度公開建築パトロール実施



鶴峰住宅に立ち入る担当者ら

違反建築の防止を図るとともに、建築物の安全性の確保と良好な市街地環境の形成を目的に実施される違反建築防止週間は10月11日から17日までの間実施されました。

15日には猪苗代、磐梯両町内で県建築士会猪苗代支部の会員と県喜多方建設事務所、猪苗代町、磐梯町の職員が①建築確認申請を受けたという表示板が掲示されているかの確認②適切な工事監理がされているかの実態調査③違反建築に対する指導の3点に重点を置き、公開建築パトロールを実施しました。

パトロールでは10棟に立ち入り、違反はありませんでした。

## 東日本大震災の経験活かす

町防災会議で計画見直しスタート



会議で事務局の説明を聞く委員の皆さん

町防災会議委員委嘱状交付式・第1回防災会議は10月24日、町役場で開催され、町内6地区の区長会長、警察、消防関係者や行政機関などの委員約20人が出席しました。

未曾有の被害をもたらした昨年の東日本大震災。本町でも地域防災計画の想定を超える事態が次々に発生し、厳しい対応を迫られました。町は、この経験を教訓に、大規模災害に対応した計画の見直しに着手するため、会議を開催することとしたものです。

今回の会議では、見直しの概要のほか、今後のスケジュールについて協議。25年3月を目標に見直しが進められます。

## ふるさとを思い善意届ける

千葉県遠藤さんらが町に寄付金



前後町長に善意を手渡す遠藤さん(右から2人目)ら

千葉県野田市の飲食店「やあこんにちは」の店主遠藤勝彦さんから4人は10月6日、町役場を訪れ、災害復興支援協力金として町に32万1553円を寄付しました。

中ノ沢出身の遠藤さんは、東日本大震災の被害にあった古里を応援しようと、募金活動を展開。遠藤さんの仲間もこれに賛同し、十数回にわたり復興ライブを行ってきました。寄付された浄財は、店の売上の一部と復興ライブで集まった善意。このほか、ライブで寄せられた応援メッセージも町に届けられました。前後町長は「心温まるご支援をありがとうございます」と感謝を述べました。





## 古里猪苗代に思いをはせる

東京猪苗代町民会総会・懇親会を開催



懇親会で合唱する会員の皆さん

東京猪苗代町民会(会員 220 人)の総会・懇親会は9月30日、東京都港区のホテルグランパシフィック・LE・DAIBA で開催されました。町からは前後公町長、鈴木武喜町議会議長、佐藤正猪苗代観光協会長らが出席し、盛会を祝いました。今回は役員の改選期にあたり、6年間会長を務めた瀧口幸男さんが勇退され、前事務局長の坂直孝さんが新会長に選出されました。

懇親会では、いなわしろ民話の会と猪苗代民謡保存会が民話や民謡を披露しました。また、会員らが「猪苗代っ子」や「おらが山」の合唱、盆踊りなどを行い、和やかなひとときを過ごしました。

## 渡部喜昭さんが全国8位に

民謡民舞全国大会で入賞を果たす



民謡の全国大会で8位入賞を果たした渡部さん

公益財団法人日本民謡協会が主催する日本民謡民舞全国大会はこのほど東京の両国国技館で開催され、高年二部(松の組)に出場した渡部喜昭さん(長坂)が見事8位入賞を果たしました。72歳から77歳までで争われるこの部門には、全国各地の代表者45人が出場しました。全国大会には県大会で優勝しないと出場できませんが、参加者を絞るため、県大会も5年に1度しか出場できないそうです。渡部さんは、出場5度目で初めての入賞に笑顔を見せ、「自分1人の力で入賞したわけではない。皆さんの支えや励ましに感謝したい」と話していました。

## 認知症について正しく理解

認知症講演会で関わり方など学ぶ



認知症について講演する石井さん

町保健福祉課と町地域包括支援センターが主催する、認知症講演会は10月16日、学びいなで開かれました。

「認知症の人の心理と行動の理解 ～認知症の人の世界～」と題して、介護老人保健施設ひもろぎの園リハビリテーション科長の石井利幸氏が講演。認知症の人との接し方、認知症の症状や予防法などについて、実例を挙げながら説明した後、みちのくボンガーズが認知症介護をテーマにしたコントを披露しました。

会場を訪れた参加者ら約200人は、熱心に聞き入り、認知症についての理解を深めました。

## 名所・旧跡を巡り体動かす

猪苗代ノルディックウォーキング



磐梯神社を訪れた参加者ら

第2回猪苗代ノルディックウォーキング大会は10月20日、カメリーナをスタート・ゴールに開かれ、町内外から約150人が参加しました。同大会は、ポールを使って歩くウォーキングを楽しみながら、猪苗代の自然や歴史に触れてもらおうと猪苗代青年会議所が企画したものです。参加者らは、準備運動や歩き方の練習の後、5キロと8キロの2コースに分かれて出発。猪苗代の秋を感じながら、土津神社や磐梯神社などの名所を巡り、心地よい汗を流しました。参加した大桃洋子さん(川桁)は「知らなかった場所なども歩くことができて楽しかった」と話していました。

## 冬を控え防火の誓い新たに

県消防協会猪苗代支部が秋季検閲



検閲官などによる通常点検を受ける消防団員ら

県消防協会猪苗代支部(土屋孝彦支部長)の秋季連合検閲は10月28日、町総合体育館カメリーナで開催されました。雨天のため、屋内で実施されたこの日の検閲には、猪苗代町、磐梯町両消防団から430人が参加。規律訓練などをきびきびとこなし、防火の誓いを新たにしました。訓練後には、検閲官の五十嵐源一磐梯町長が「機敏な訓練の様子を拝見し、緊急時への備えが万全であると感じた」と講評を述べました。また、長年にわたり消防団活動に尽力した団員らをたたえ、功績章、勤続章、精勤章や親子消防の表彰が執り行われました。

## 今後もますますのご活躍を

学びいなで高齢者福祉大会を開催



金婚夫婦表彰を受けた磯川さん夫妻

第43回町高齢者福祉大会は10月26日、学びいなで開催され、町内の老人クラブ会員ら約350人が出席しました。

町老人クラブ連合会の戸田忠義会長が「誰もが健康で、安らぎと潤いのある人生を満喫してください」とあいさつ。役員表彰、会員加入増強老人クラブ顕彰伝達の後、しあわせ金婚夫婦が表彰され、38組を代表して磯川盛雄さん、民子さん夫妻(新堀向老人クラブ)に表彰状と記念品が手渡されました。

式典後は、各地区の老人クラブ会員らがアトラクションを披露し、来場者を楽しませました。